

岡山県社会福祉

おかやまけんしゃかいふくし

2021
冬

No.643



～社会福祉法人の公益的な取組レポートより～

【特集インタビュー】子どもの育ちと環境を大切にしていきたい

CONTENTS

社会福祉法人の公益的な取組レポート	4
被災地に寄り添う	5
現場からの発信	6
県社協ニュース	8
赤い羽根共同募金	11
「ふくし」の仕事人たち	12



社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
URL: <http://www.fukushiokayama.or.jp>
Facebook: <https://facebook.com/fukushiokayama/>





子どもの育ちと環境を大切にしていきたい



今号では、平成30年7月豪雨をきっかけに被災地の親子を支援するために「サンサポートオカヤマ」を立ち上げ、この春、子育てをするお母さんたちが地域で緩やかに繋がれる場をつくり、さまざまな子育て支援活動に取り組む「ハレハハ」を設立されたボウズ満恵さんにお話しをお伺いしました。

「サンサポートオカヤマ」で活動する中で、災害時、地域で繋がっておくこと、顔の見える関係性が大切だと改めて感じました。そこで、日常の中から緩やかに繋がれる場所があればいいなと思い「ハレハハ」を設立しました。「ハレハハ」では、子どもの育ちと環境を大切にしています。また、行政サービス等の必要な情報が必要な方へ行き届くようにサポートできればと思います。

—「ハレハハ」の活動内容や今後について教えてください。

「ハレハハ」では、子どもを対象にした防災講座やオンラインでの学習支援などの活動を行っています。防災講座は、地元の小学校の4年生に授業で行っているほか、県内の公民館等で開催しています。防災士の資格を取得し、真備で被災経験のあるメンバーと一緒に、被災地支援等の経験を活かし、より肌で感じられる学びになるように企画し実施しています。子ども自身が考えることで地域に返ってくると思うので、今後は、天体観測を兼ねた避難訓練などイベントとマッチングしてより多くの人に興味を持ってもらえるようにしていきたいと思っています。また、今年の春は匂いなどが気になる妊娠中も安心できるマスクを妊婦さんへ届ける活動も始めました。

—「サンサポートオカヤマ」のことや「ハレハハ」を立ち上げるきっかけについて教えてください。

私が、子育てをしながらしんどいなと思うことがあった時、安心して相談できる窓口がなく、同じように困っている人たちと一緒に子育てをしたいなと思っていました。そんな時、平成30年7月豪雨が防災。同じ岡山県内だったら自分

も助けられるかとも思い、被災地の親子支援のため友人と一緒に立ち上げたのが「サンサポートオカヤマ」です。専門的な知識があるわけではないので困っている人に当事者側として出会うことで、必要な支援に繋がっていったらいいなと思います。去年は、熊本で発生した豪雨災害時にも、ネットを使って、岡山にいなながら現地の親子支援を行いました。

今後力を入れていきたいと思っ
ている活動としては、子ども
の成長をサポートする「トリ
アージファイル」の普及です。
「トリアージファイル」とは、
緊急時に世界共通で活用され
る「トリアージ（優先度の選
別）の色の識別をヒントに、
自分で考え、自分で選択をす
ることを日常生活の中で自己
教育の場（自分で自分を育て
る場）になるよう作成したフ
ァイルです。学校から持ち帰
るプリントやお便り等の連絡
書類の重要度の区分けを自分
で考え行うことで、普段の生
活の中で優先順位や重要度な
どを自ら考え判断する訓練の
場となり、子どもの行動習慣
を身に付ける補助となります。
また、トリアージ色を普段か
ら身近に感じる環境にあるこ
とで、トリアージという言葉の
持つ意味や役割を知ること
に繋がるだけでなく、災害時
や緊急時での重要性を知るき
っかけにもなります。ファイ
ルの作成が進んだら、子ども
の日常の場で使用が浸透する
よう、使用方法などをレクチャ
ーし、子どもと共に考えるワ
ークショップや、学習障害、
軽度自閉症児の親の会や保
護者を対象にした茶話会など
を企画し、その中でトリア
ージファイルを使用例に我が
子の自立に向け保護者ができ
ることを共に考え共有したい
と考えています。

このトリアージファイルを普及
することで、防災意識の高い
県であることと復興のシンボ
ルの一つとしたいと考えてい
ます。そして時代が

変わりゆく中、多様性を認め、
子ども一人ひとりの育ちと、
未来を応援できるモノとして
しっかり実現させたいと思っ
ています。



作成を進めているトリアージファイル
商品化に向けスポンサー募集中！

―読者に向けて、メッセージをお願いします。

災害支援の中でサポートを素直に受けるこ
とができない親がいました。「あつちの方が大
変だから…」と言って支援を受け取らず最後
まで辛い思いしたお母さんもいました。困つて
いる時に助けてほしいと声をあげることは凄
い力です。この受援力というサポートを受け取る
力が、緊急時の自分の身を守る一つにもなりま
す。今まで生きている中で、サービスを一つも
受けずに大人になった人はいません。誰しも必
ずどこかでサポートは受けていて、普通のこと
なのです。自分が持っている力を使ってお互い

役に立ち、根付く活動をしてい
きたいと思っ
ています。

また、子どもの育つ場で何より大切なのは環
境です。子どもにとって例えば、下校中にお
かえりと声をかけてくれる地域の方は安心の場
のひとつであり、親にとっては家庭の外で見守
ってくれている方がいるという大きな支えとな
ります。家庭環境や個人の悩みが複雑化する中
で、そういった方々が大きな役割を担ってくれ
ていると思っ
ています。良い方向に短期間で向
くことは少ないですがその時に関わってもらっ
た時間は本人の将来に大きく影響されます。諦
めずに関わり続けると必ず変わる瞬間がありま
す。民間の立場で「ハレハハ」も子どもや育
て環境にいる保護者を支えていきたいと思っ
ていますので気長に一緒に頑張りましょう。

Profile



ハレハハ

代表 **ボウズ** みつえ **満恵** さん

〒701-0204 岡山市南区大福 362-10
✉ : harehaha.project@gmail.com
🌐 : https://harehahaproject.wixsi



養護老人ホーム報恩積善会

ふれあい講座

地域の一員として
互いの手を携え
無理なく続ける

●「ふれあい講座」の取り組み

施設を開設した当時から地域とのつながりを大切にいろいろな取り組みを行ってきています。「ふれあい講座」は家に閉じこもりがちになっていく地域のお年寄りが、外に一步出るきっかけとなるように始めました。法人としても無理のない範囲でできることをやろうと、施設内の地域交流スペースを活用し、2か月に1回というペースで続け2017年6月から3年半も続けています。講師はボランティアの方をお願いしたり、職員が行う回もあります。今回は、約1時間のプログラムで、リズム体操やフラット制作を取り入れました。新型コロナウイルス感染症の影響から、一時期ふれあい講座を中止していましたが、現在は感染症対策を取りながら再開しています。感染のリスクは不安ですが、なんでも中止してしまつては、お年寄りの方の行き場がなくなり孤立につながりかねないと思い、再開することにしました。

●参加者の声

「新型コロナウイルスの影響でいろいろなことがなくなり、外に出ることがなくなつてしまつたので、これだけが楽しみです。」と話をしてくださるのは、講座開設時から利用されている町内にお住いの森田さん。ふれあい講座は、3回行くと施設の昼食を1回無料で食べることができるとの特典付きで、これも楽しみの一つだということです。講座に参加するごとに判を押してもらおうメンバーズカードがあ



3回出席すると
昼食券に!



今回お話をうかがった
事務長の前田さん



参加者の森田さん



コロナ終息の願いを込めて

●今後の課題や展望

り、3つ判が付くと、昼食無料券として使える仕組みとなっています。おいしいと評判の昼食は、残念ながら現在は感染防止のため中止されていますが、皆さん、再開を心待ちにされています。

講座には現場職員にも関わってもらい、施設の利用者さんの支援という枠を越えて、公益的な活動になぜ取り組む必要があるのかということに踏み込んで考えてもらいたいと思っています。

活動に参加することで、やりがいを感じたり、地域のニーズを知ってもらい、社会福祉法人の一員という意識をもつて、主体的に動いてもらえるようになると良いと思っています。

お問い合わせ先

社会福祉法人報恩積善会 養護老人ホーム報恩積善会

岡山市北区津島笹が瀬9番8号

TEL: 086-252-0471 FAX: 086-252-3044

☎: <http://plus.harenet.ne.jp/~houon/>

📘: <https://www.facebook.com/houonsekizenkai>

✉: hounon@po.harenet.ne.jp



被災地に寄り添う ～西日本豪雨の被災地のいま～

怖いけど、**忘**れてほしくないから**伝**えたい

―平成30年西日本豪雨災害からの教訓―

「水害に備えて」冊子に込めた想い

岡山県建築士会 副会長 中村陽二 さん



(右) 熱く語って下さった中村陽二さん
(左) デザインを手掛けたスタッフ

平成30年西日本豪雨災害から約2年半。今でも、数名の建築士とともに、水害被害に見舞われた家屋修理の相談・助言のため、たびたび被災した倉敷市真備町に赴いている中村さん。

今回は、岡山県社協くらし復興サポートセンターとも連携している岡山県建築士会倉敷支部が倉敷市行政などの関係機関と一緒に作成した「水害に備えて（第3版）」についてご紹介します。

●冊子作成の誕生秘話

発災直後、中村さんたちは、すぐに倉敷市真備の現地に入り、家屋の応急危険度調査をおこなった。地震とちがいで、水害の判定制度はないが、現地に行ってみると、案の定、土壁の多くの家は泥が溶け、たくさんの住民から、これから住めるのか不安の声が挙がっていた。

半年近くは、現地に建物を実際に見ながら相談に乗った。しかし、なかなか復旧が進まない。「次の風水害が起きたら、また同じことが起きるのでは…。真備町での災害支援が記

録としてあれば、他の地域での参考になるかも知れない。」そんな想いから、この冊子が生まれた。

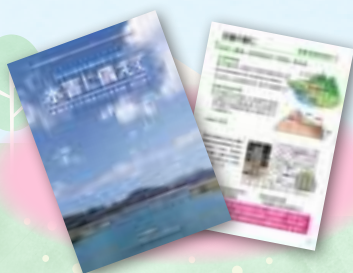
●水害への備えは、土地選びから

今回、第3版を作成するにあたっては、ワーキンググループを立ち上げた。倉敷市の行政や社協と一緒に考えることで、多くの資料をもとに、災害ゴミの出し方等、建築に限らない、生活に関する情報を盛り込むことができた。

水害への備えは、自分が住む土地選びから始まっている。冊子では、災害が実際に起きる前から、自分が住む地域の地名や水害の歴史などに触れておくことの大切さや、日頃の備え、実際に災害が起きた時、被災後に家を建てる時に至るまで、多様なアドバイスを集約している。

●読者にむけて一言

災害は、怖いもので、地域ごとに全くちがう。この冊子を通じて、真備のことを教訓として、ぜひ、みなさんの地域での災害の備えにして役立ててほしい。



■ご質問などは岡山県建築士会倉敷支部
(有限会社リスブ内)まで

TEL: 086-427-2111

■本冊子は、倉敷市ホームページから無料で、ダウンロードできます。



「制度の狭間の課題に向き合う」
…既存の制度では行き届かない
支援を模索し、“狭間”に光を当
てる取り組みと、その実践者を
紹介します！

もたえのさと 天理教甕之郷分教会

～子どもから高齢者まで
大家族のような温かな支援を～



倉敷市玉島地区にある「天理教甕之郷分教会」では、生活の中で困りごとを抱えている方や世帯に対して、自立に向けた衣食住の支援を行っています。子どもからお年寄りまで、老若男女さまざまの方が交流しながら生活を共にする風景からは、まるで大家族のような温かさ、懐かしさを感じます。

今回は教会の原田会長ご夫妻と原田前会長ご夫妻を中心に、取り組みについてお話をうかがいました。

—教会での自立支援について教えてください。

現在は教会と、近くにある宿舎に約20世帯の方々が生活されています。他にも、住居は別ですが、食事のみ食べに来られる方もおられます。单身の方から、ご家族で入居されている方、金銭的な課題を抱えている方、精神的な疾患がある方、非行により家族に見放されてしまった方等、皆さん事情はさまざまです。介護が必要な方には教会関係者や訪問介護サービス

を利用して身体介助を行ったり、病院の受診同行等もお手伝いしています。一方で、可能な方には畑仕事や家事（掃除や調理など）を手伝っていただいたりとお互いに助け合って生活をしています。

—どのような経路で、相談や受け入れにつながるのでしょうか？

訪問活動の中で直接相談につながったり、知人や関係者など人づて、その他にも保健所等の公的機関から相談が入る、といった場合もあります。

—天理教のどの教会でも、同様の受け入れをされているのでしょうか？

天理教の根幹に「世界中一れつはみな兄弟や、他人と言うは更でないぞや」という教えがあります。「世界中、隣近所どんな人でも、家族のように助け合って生活していくことで家庭、社会がおさまっていく」誰かを助けることで、自分たち自身も助けられている。…どの教会でも教えにそった活動をしています。方法は様々です。

—支援の中で大切にされていること

—とや気付いたことはありますか？

まずは話を聞くこと、心に寄り添うことを心がけています。そうやって話を聞いていくうちに、その方がなぜ行きづまったのか、その道筋が見えてくることが多いのですが、家庭環境に課題を抱えて育ってきた方が多い印象を受けます。ですので、家族のように衣食住をともしながら関係を築き、心のケアを行うことが本当の意味で助けとなり、自立につながっていくのでは…と考えています。



— 小さなお子さんもたくさん出入りされていて、本当に大家族のような雰囲気ですね。

私たち親族の子どもだったり、併設しているファミリーホームで受け入れをしている子ども達、その友達や近所の子どもだったり：子ども達との交流で癒されたり元気になる方もおられますし、逆に子ども達の育ちも豊かになっているように感じます。

— 地域との関係づくりで工夫されていますか？

地域での草取りやゴミ拾い、高齢者宅のお手伝い、子ども食堂や災害支援活動等を通して地域の理解を得られるよう心がけてきました。今ではご近所の方も見守りに協力して下さったり、調理のお手伝いなど外部からボランティアに協力して下さる方も増えました。私たちだけで支援を行うのには限界もありますが、地域の方も含めて多くの方が関わって大きな力になると感じています。

— 課題に感じていることや今後の展望等がありますか？

入居されている方の中には障害や身体的な課題があり福祉的就労

に出かけるのも難しい方がいます。そういった方々でも教会の中で可能な作業等を提供できたり、その方の生きがいや自立につながっていくような仕組みが作れないかと考えています。福祉関係者の皆さまから助言をいただければありがたいです。



【お問い合わせ先】

■ 天理教養之郷分教会

住所：倉敷市玉島

乙島6840-1

TEL：086-526-2374

令和2年度

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

保険金額・年間保険料 (1名あたり)

保険金の種類	基本プラン	双々補償プラン
死亡保険金	1,040万円	
後遺障害保険金	1,040万円(階級別)	
入院保険金日額	6,500円	
手術 入院中の手術	65,000円	
保険金 外来の手術	32,500円	
通院保険金日額	4,000円	
地震・噴火・津波による死傷	×	○
賠償責任保険金 (対人・対物共済)	5億円(任意額)	
年間保険料	350円	500円

＜基本プランに加入される方へ＞
基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。
◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。
※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

商品/パンフレットは
こちら
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、特定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引継ぎ幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137

受付時間：平日の9:00～17:00 (土日・祝日、12/31～1/3を除きます)
損害保険ジャパン日本興亜は、登録済みの引継ぎ幹事として、2020年4月1日に番号を変更。「損害保険ジャパン」になります。

取扱い代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区麹町3丁目3番2号 新麹町ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763

営業時間：平日の9:30～17:30 (12/29～1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する60年契約です。

IS.LNK.18-12918-2020.2.10(株)



令和2年度 岡山県社会福祉協議会会長表彰・感謝

(敬称略・順不同)

◎ 民生委員・児童委員功労者

手島 美恵子	鈴木 芳孝	佐々木 博一
坂本 未子	安阪 眞一	中原 富江
鈴木 京子	野口 千恵子	渡邊 操
楢本 眞弓	小福田 佐知恵	大土井 亮輔
河野 廣江	木下 治	中塚 恵子
政岡 千恵美	中谷 肇	上野 善康
古川 靖子	石井 秀知	難波 周子
武本 満子	枝井 愛子	平野 和子
上野 洋子	藤田 啓子	沼 憲
米山 勝美	黒田 良典	高藤 典子

◎ 社協・団体功労者

山辺 薫	村上 保子	石井 貴子
横山 茂子	石井 素子	古林 達
安原 幸子	江草 秀幸	上山 靖恵
竹本 弘子	瀧川 堯文	岡崎 壽一
藤本 恵子	山田 恵津子	黒瀬 晃子
石橋 京子	大森 治美	浅原 義充

◎ 優良社協・団体

津島地区社会福祉協議会

◎ 社会福祉施設功労者

中山 明美	釜付 美弥子	堀野 文子	岩本 智恵	山田 豊子	若林 晴子	岸本 仁美
西村 紀子	坪中 弘子	武部 登志子	平田 高子	竹本 恵理	福永 いづみ	鳥越 佳津江
友定 恵子	川嶋 由起子	岩崎 道德	北川 康子	神谷 薫	井戸 由美	政安 薫
井上 真由美	塩尻 美佐江	浅野 辰江	畑 圭子	綱嶋 浩子	中原 泰子	細川 真由美
川上 静香	佐々木 浩江	田中 憲吾	田中 登	川崎 美名子	山本 義文	新後 智子
神谷 久美代	石井 清美	山本 佐代	藤井 寿子	原崎 由美子	信川 真理子	小野 育子
菅野 幸子	福本 陽子	久保木 成一	岩佐 春美			

◎ 社会福祉協助者（感謝）

岡山ボランティアネットワーク	川崎医療福祉大学ボランティアクラブワンピース	ママブック				
やまておはなしポケット	高梁2-2南配食ボランティア	やかげ手話サークル				
同京 清典	片岡 康弘	坂本 四郎	坂本 嘉子	平野 勲	高橋 和子	星野 恵子
花房 多恵子	大森 靖子	上里 秋子	松島 ちづる	枝本 愛子	長田 清子	梶藤 繁美
坂本 支津子						

福祉の労務管理は福祉の社労士にお任せください！



労務管理で
困っている

- ・就業規則の見直し
- ・人材育成
- ・人材定着
- ・助成金の活用
- ・セミナー講師
- ・業務の効率化

Ai あい社会保険労務士法人 ☎ 0863-81-5634

特定社会保険労務士 佐藤起世子
〒706-0024 玉野市御崎 2-3-13

あい社会保険労務士法人



<http://aisr.or.jp/> メルマガ募集中！

メルマガはHPからお申し込みください。

通信で 教育訓練給付金対象学科 (専門129)

社会福祉士をめざすなら  最大 **70%** 給付

学校法人 穴吹学園
穴吹国際みらい専門学校

福山 穴吹 社会福祉 2021年度生 募集中

TEL. 084(931)3325 

“お車の共済の事なら！”

 **西日本自動車共済協同組合**

お見積り、ご相談、無料で承りますので
お気軽にご連絡下さい！

岡山県支部 〒700-0927
岡山市北区西古松 237-126 松本ビル3F
TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

【本部】福岡市博多区東比恵 2-15-25
TEL: 092-441-5901

NJ730. 1603. 0250. 999999

おかやま★フクシ・カイゴ職場

すまいる宣言 ってなに?



～笑顔で働ける福祉・介護の職場づくりを目指して～ 働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組み、一定の基準を満たした福祉・介護事業所の宣言内容について、岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会において確認し、**宣言事業所として登録**する制度です。
令和2年度前期に4法人・51事業所が「五つ星宣言事業所」として新たに登録されました。
すべての「すまいる宣言」事業所はホームページからチェックしてみてください。

富田ケアセンター有限公司 (倉敷市)

【五つ星事業所】 ★★★★★
宣言登録番号 OKA00011
看護小規模多機能ホーム 桃の鈴花 など 22事業所

ご家族や地域の方々との交流を大事にしており、ご利用者様の要望はもちろん、働く職員にとっても心地よい場、“皆様から愛され頼られる居場所”でありたいと願っています。そのために必要なら、事業拡大や新規サービス参入など積極的に挑戦していきます。



社会福祉法人 吉備健生会 (吉備中央町)

【五つ星事業所】 ★★★★★
宣言登録番号 OKA00012
特別養護老人ホーム 吉備高原賀陽荘 など 5事業所

法人理念のもと、地域に開かれた施設として在宅から入所まで、利用者一人ひとりの立場に立った総合的なサービスを提供しています。

また、職員も安心して長く働けるよう、スキルアップや福利厚生充実にも努めています。介護だけではなく、すべての福祉を大切にする施設です。



社会福祉法人 藤花会 (瀬戸内市)

【五つ星事業所】 ★★★★★
宣言登録番号 OKA00013
特別養護老人ホーム せとうち など 5事業所

我々はミッションの一つとして、「職員とその家族を幸せにします」を掲げています。仕事をするには体が資本。心と体が健康で、職員自身が「楽しい!」「充実している!」と思いつながりながら働いてもらえる環境づくりに尽力します。



社会福祉法人 天神会 (笠岡市)

【五つ星事業所】 ★★★★★
宣言登録番号 OKA00014
特別養護老人ホーム 天神荘 など 19事業所

天神会は「愛と献身」の理念を元に笠岡市を拠点に運営する総合福祉施設です。

健康経営に力を入れており、職員が楽しくこころとからだの健康を意識して働ける環境づくりを目指しています。また、スキルアップと資格の取得支援など人材育成も行なっています。



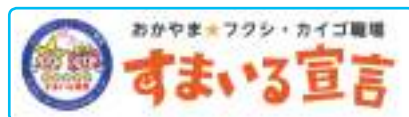
「おかやま★フクシ・カイゴ職場 すまいる宣言」に関するお問い合わせはこちら

岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会

【事務局】岡山県社会福祉協議会 福祉支援部 (福祉人材センター)

電話: 086-226-3507

<http://smile.okayama-fukushikaigo.jp/>





福祉の職場 見学・体験ツアーを 開催しました！

10月31日(土)と11月28日(土)に、小学4・5・6年生及び中学生を対象に「福祉の職場見学・体験ツアー」を開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小し、感染症対策を徹底しながら、参加者の皆さまに体験をしていただきました。

高齢施設では、介護機器や車いす体験などを行いました。また、障害施設では、利用者さんと一緒にクッキーづくりやお仕事体験などを行いました。利用者の方と一緒に作業をし、職員の方のお話しを聞くことで福祉の仕事のやりがいや魅力を感じてもらえたのではないかと思います。

このツアーを通して、今後、福祉・介護に関心を持ち続けてくださることを願っています。



新型コロナウイルス感染症下で 困っている子どものために 「支える人を支えよう！」 緊急支援金

生活協同組合おかやまコープ様が、子どもと家族をめぐる生活課題を地域で解決するための活動を応援しようと、おかやまコープ会員や店舗来店者等へ呼びかけた「支える人を支えよう！」緊急支援基金を、本会や県内市町村社協等へ寄付くださいました。寄付金をいただいた県内10市町村社協では、社協が住民や社会福祉法人等と協力して行う子どもの支援活動に活用いただいています。ありがとうございました。

活動例

- こどもの居場所づくり
- ひとり親世帯への配慮
- 子育て世帯へ食料・日用品を提供する活動を
放課後児童クラブの活動
充実等



【お問合せ先】

地域福祉部地域支援班
☎ 086-226-2835



観光庁長官登録旅行業第55号
(社)日本旅行業協会正会員ボンド保証会員
岡山市北区幸町8-29 大樹生命岡山ビル9階

TEL:086-225-2771 Fax:086-225-7494 担当:中西・深井・三鬼

- ☆国内・海外を問わず、安全で快適な旅行をしたい！
- ☆日帰り豪華な食事がしたいんだけど、どこが良いかな？
- ☆予算がないんだけど1泊2日でどこか行きたいな～！
- ☆個人で出張や家族旅行で切符やホテルの手配が必要なのですが・・・



旅行の事ならなんでもご相談ください。様々なご相談、見積、手配もいたします。

2021年4月入学生願書受付中! (最終締切2021年3月19日◎)

社会福祉学科 通信課程

一般養成課程(1年6ヶ月コース) 一般養成課程(1年コース) 短期養成課程(9ヶ月コース)

精神保健福祉学科 通信課程

一般養成課程(1年7ヶ月コース) 短期養成課程(9ヶ月コース)

教育訓練給付制度対象講座
社会福祉学科 一般養成課程(1年コース) 短期養成課程(9ヶ月コース)



詳しくは
QRコードから
HPをごらん
ください。

好きを極めてプロになる

社会福祉学科 初実技パティシエ福祉力レッジ

〒760-0021 香川県高松市西の丸9-10
TEL.087-823-5566

※スクーリングはJR高松駅すぐ近くの当校校舎で行います。



赤い羽根共同募金

岡山県共同募金会



赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」を実施しています！

このプロジェクトは、地域の様々な社会課題の解決に取り組んでいるNPO法人等と協働して、その活動に必要な資金を募集するものです。集まった募金は、寄付をされた方が指定した団体の活動費として、本会を通じて助成されますので、ご支援をよろしくお願い致します。

募金の募集期間は、令和3年1月1日(金)～令和3年2月28日(日)までです。

プロジェクト参加団体(順不同)

- 社会福祉法人岡山いのちの電話協会
- 認定特定非営利活動法人子どもシェルターモモ
- 公益社団法人被害者サポートセンターおかやま
- 認定特定非営利活動法人ハーモニーネット未来
- 特定非営利活動法人チャイルドラインおかやま
- 一般社団法人子どもソーシャルワークセンターつばさ
- 特定非営利活動法人岡山市子どもセンター
- CAPおかやま
- 特定非営利活動法人未来へ
- はばたけ未来の私

今年も歳末たすけあい運動を実施しました！

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことが出来るようにと、今年も全国一斉に歳末たすけあい運動を実施し、12月16日(水)に、岡山駅西口のひかりの広場(リットシティビル内)にて配分交付式を開催いたしました。



配分が決定した福祉関係団体、障がい者福祉施設(合計17施設・団体)に対し、総額326万円の配分決定通知書を交付しました。

あたたかい募金をお寄せいただいた方々をはじめ、ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



12/1 オープニングセレモニー



12/16 配分交付式

『ふくし』の
仕事人たち

施設・団体等で働く「ふくし」の
仕事に携わる人たちの声を
紹介していきます。



サービス付き高齢者向け住宅
ココファン岡山平田
鮎子 みち子 さん

奥深くてやりがいのある仕事。
細く長く続けていきたい。

「ふくしの仕事」をはじめたき
っかけは？

18歳で就職した病院事務の仕事に始まり、保育士や給食調理員として定年まで勤めました。その間に、父親の介護も経験しました。そして、定年を機に当時90歳だった母親と同居を始め、3年間の介護の末、見送りました。介護が好きだったのかな。もともとじつとしているのが苦手な性格もあり、65歳で「介護を究めたい」と一念発起し、初任者研修を受講しました。その後、訪問介護や小規模多機能型事業所で介護職として経験を積み、70歳で国家資格介護福祉士に挑戦し、無事合格。家族には「もう十分でしょ。」と言われましたが、せつかくなのでもう少し頑張ろうと思ひ、無理なく働ける今の職場に決めました。

現在の仕事の内容は？

就職してすぐは介護職をしていましたが、若いスタッフも増え、現在は環境整備や見守りが主な業

◆休みの日はどのように過ごしていますか？

休みの日は家にいます。なるべく外に出歩かず、テレビを見たり、音楽を聴いたり…お風呂でストレッチして心を落ち着けるようにしています。そうすることで、出掛ける＝「仕事が楽しい」という風に気持ちを持っていけるんです。

◆長く働く秘訣を教えてください。

健康管理と体力作り。あとは楽しむこと。これにつきます。きっと誰でもできますよ！

【施設名】
サービス付き高齢者向け住宅
ココファン岡山平田
【住所】 岡山市北区平田111-105
【TEL】 0120-130-558

務です。

ケア自体は若い人に任せて、その人たちが働きやすいように支える縁の下の力持ち的存在かな。そうすることで、若い人がケアに集中することができ、良いケアにもつながっていると思います。介護の仕事は奥が深く、やりがいのある仕事だと改めて実感しています。

仕事をやる上で大切にしていることはありますか？

やはり体力では若い人になかないので、その分、気持ちや言葉で補います。気持ちを安定させ、笑顔で挨拶をしつかりすることを心掛けています。

この間、掃除をしている私の姿を見て、利用者の方から「あなたが一生懸命しよるから私も頑張ろうって歩きよる。」と言われた時は、互いに元気をもらえて嬉しかったですね。

これからも利用者さんやスタッフに元気を届けられるよう、細く長く働き続けたいと思います。



機関紙「岡山県社会福祉」への
ご意見・ご感想をお寄せください！

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にももるんじゃーグッズをプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

■ 郵 送：〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階

岡山県社会福祉協議会 広報班

■ FAX：086-227-3566 まで

なお、当選の発表は
商品の発送をもってかえさせていただきます。

